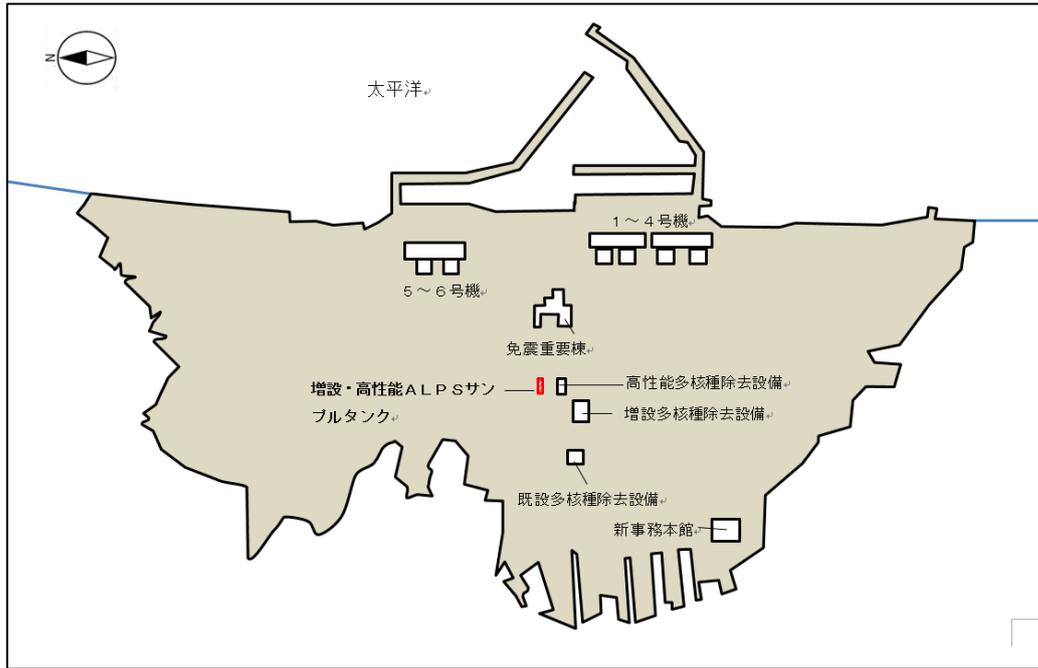


福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年2月22日（月）
- 2 確認箇所
増設多核種除去設備及び高性能多核種除去設備サンプルタンク（以下、「増設・高性能ALPSサンプルタンク」という。）
- 3 確認項目
増設・高性能ALPSサンプルタンクの位置ずれの状況
- 4 確認結果の概要
令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震（立地町震度6弱）により、一部のタンクに位置ずれが発生したことの報告が東京電力からあったことから、今回、増設多核種除去設備等の処理水を一時貯留する増設・高性能ALPSサンプルタンク※の状況を確認した。（図1、写真1）
 - ・堰内に設置されているタンク6基のうち3基について、北側から南側へ数センチメートルの位置ずれが確認された。（写真2）
 - ・堰内には雨水が滞留していたものの、目視確認した範囲において、タンク及び配管からの漏えいは確認されなかった。（写真3）
 - ・東京電力によれば、今後、処理水移送時に運転圧力における漏えい確認を実施する予定とのことである。

※ 当該タンクなど比較的大型のタンクについては、耐震性確保の観点から、基礎に固定せず、平置きして一定以上の力が加わった際に動くことにより転倒や損傷を防ぐよう設計されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
増設・高性能ALPSサンプルタンク外観



(写真2-1)
タンクの位置ずれの状況



(写真 2 - 2)
数センチメートルの位置ずれを確認



(写真 3)
堰内の配管の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。

なお、1号機原子炉格納容器内水位低下により格納容器内圧力低下を確認した。